音楽で会場みんながひとつになる

12月22日、「きっくいやんせ～Tenande音楽会」が開催されました。宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団有志によるオーケストラの演奏や西諸管内のジュニアコーラスの歌の披露などが行われ、参加者は音楽を通して楽しい時間を過ごしました。

のじりこぴあで竹とんぼ飛ばし大会

12月22日、のじりこぴあで「クリスマス のじりこぴあに集まれ」が開催されました。自分の好きな色を塗った竹とんぼをステージから飛ばす竹とんぼ飛ばし大会やストリートライブ、園内の道路にチョークで絵を描くイベントなどに多くの家族連れが参加しました。

子どもたちが元気に募金呼びかけ

12月25日、市内小・中学生18人が市役所などで街頭募金活動を行いました。市社会福祉協議会主催のボランティア体験事業の一貫で行われ、子どもたちは寒さに負けず元気に募金を呼びかけていました。午後からは高齢者へ宛てた年賀状の作成なども行いました。

年明け恒例新春山麓路ロードレース

1月3日、第48回新春山麓路ロードレース大会（山麓ランニングクラブ主催）が開催されました。北西方の入佐運動公園をスタートする1㌔から5㌔のコースで実施。大会には小学生から一般まで約120人が参加し、新春の霧島山麓路で健脚を競いました。

令和７年小林市消防出初式を開催
消防活動に尽力した延べ64人を表彰

1月12日、文化会館で小林市消防出初式が開催されました。消防団員など約250人が出席し、地域防災への思いを新たにしました。式では、消防功労者への表彰を実施。長年消防活動に尽力した延べ64人に表彰状などが贈られました。

【表彰者（氏名のみ・敬称略）】 ■県知事表彰 田上博、神之薗雄一、内山裕介、森田健二郎、佐土原聡、横山直子 ■市長表彰 古澤智、有木洋介、齋藤康志、小野文也、立元真一 ■（公財）県消防協会長表彰（功績章） 松岡裕一、有木洋介、髙妻司、西山孝明 （精績章） 橋口聖、永﨑健央、谷口拓馬、田中匡史、福留栄、徳永篤、齋藤誠二郎、福留直人、濱﨑和明、村田耕一 ■県消防協会西諸支部長表彰 川添健央、大坪和政、甲斐瑞樹、岩渕弘幸、新田泰佑、金丸勝紀、炭床大地、三反田和也、立野久信、飯谷昭博、黒仁田知幸、金松繁、平野秀樹、永迫一樹 ■市消防団長表彰 竹原悠一郎、棚原翔太、奥野涼平、齋藤理一郎、岡原圭吾、八重尾公仁、宗方悟司、後藤浩太、迫尾将志、岩切亜委 ■勤続章（勤続10年） 坂元俊亮、森本潤葵、下道健人、大坪拓哉、森清文、安藤翔太、鬼目太郎、岩屋洋二、髙佐栄太郎、假屋拓朗、深野木貴志、八重尾晋司、宇藤一成、児玉慎一郎、鎌田智起

体育・文化振興を願い市内３高校に寄付

12月16日、小林市区長会が体育・文化振興のため市内3つの高校を訪問し寄付を行いました。橋ノ口孝一区長会長は「寄付は区･組加入世帯の協力によるもの。がんばっている子どもたちのため、体育部・文化部の活動や強化育成に役立ててほしい」と話していました。

小林中学校男子ソフトテニス部
九州大会への出場決める

12月17日、小林中学校男子ソフトテニス部が12月27日に開催される九州ジュニア選抜インドアソフトテニス大会に出場することを市長に報告しました。昨年から大会に出ていた2年生主体のチームで、11月の県予選で出場権を獲得。主将の髙田弦空さん（小林中2年）は「県代表として良い成績を残せるよう練習に励む」と話しました。

インドアソフトテニスとは室内で行うソフトテニスで、ボールの弾み方などが屋外と異なるため、その特徴を考えながら戦うスポーツのこと

東方中の中に多世代交流拠点
「おじゃったもんせカフェ」開催

12月23日、東方中学校で「おじゃったもんせカフェ」が開催されました。これは、地域住民をはじめ、同校や併設されているこすもす支援学校の生徒、教諭など、誰でも通うことができる多世代交流拠点となる通いの場で、東方中学校の空き教室を活用し実施。今後、茶話会を中心としたカフェが毎月開催される予定です。

西諸弁で「ようこそ」「よく来てくれたね」という意味のある、この「おじゃったもんせカフェ」は、東方地区の住民主体で立ち上がった通いの場です

認知症の人が生きる世界を体験
ゲーム感覚で認知症について学ぶ

12月12日、市内の介護サービス事業所や医療機関の職員などを対象とした認知症研修会が開催されました。研修会では、「認知症世界の歩き方ゲーム感覚で仲間と学ぼう！実践（対話＆デザイン）ワークショップ」をテーマとしたグループワークを実施し24人が参加。参加者は楽しみながら認知症についての理解を深めました。

認知症の人が普段どのようなことに困っているのか、不安を感じているのかなど、認知症の本人の視点で認知症世界を実際に体験しながら学びました

小林ハンドボールスポーツ少年団
持ち味生かし九州大会上位目指す

12月16日、小林ハンドボールスポーツ少年団が12月21日・22日に熊本県で開催される第45回九州小学生親善ハンドボール大会に出場することを市長に報告しました。チームは11月の県大会で優勝し、出場権を獲得。主将の南優之介さん（小林小6年）は「持ち味であるディフェンスをしっかりして上位を目指す」と意気込みました。

九州大会でチームは予選リーグを全勝で勝ち抜き決勝トーナメントへ進出。粘り強い戦いを見せましたが、惜しくも準決勝で敗退しました

基腐病対策や技術向上の取り組み評価
JAこばやし甘藷部会が宮日農業技術賞

1月17日、宮崎県の農業振興に貢献し、地域をリードする農業者などに贈られる「宮崎日日新聞農業技術賞」を、JAこばやし甘藷部会（石川文男部会長）が受賞しました。同部会では、県内などでサツマイモ基腐病が拡大するなか、発生防止対策を徹底。あわせて生産技術の向上や環境保全対策にも取り組んできたことが高く評価されました。

同部会の取り組みなどもあり、西諸県地域はサツマイモ基腐病の発生がほぼ無い優良地域を維持。品質・収量が高いことから、高い評価を得ています

第15回宮崎県市町村対抗駅伝
県内市町村の代表が健脚を競う

1月13日、第15回県市町村対抗駅伝競走大会がひなた県総合運動公園内を周回するコースで行われ、小林市チームは市郡の部で4位でした。

【出場選手（★は区間賞）】
1区 江藤凱斗（一般）、2区 上瀧ななえ（小林小）、3区 福田麻誠（小林中）、4区 橋谷志友（西小林小）、5区 堀之内邦洋（一般）、6区 上甑飛鳥（小林中）、7区 福﨑崇宏（一般）、8区 加藤里亜菜（細野小）、9区 鶴優希（小林高）、10区 木島大翔（小林中）、11区 永住朔大（三松小）、12区 後藤秀波★（小林高）

能登町「寒ぶりまつり」でPR

1月19日、姉妹都市石川県能登町で「のと寒ぶりまつり」が開かれました。能登半島地震を乗り越えての2年ぶりの開催に、多くの人でにぎわいました。祭りでは、本市も「宮崎牛しゃぶしゃぶ」を販売して魅力をPR。2時間ほどで完売するなど好評を博しました。

コミュニティ助成事業で備品を整備

南校区まちづくり協議会が（一財）自治総合センター宝くじ社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」の助成金を受け、テントやＬＥＤライトなど備品を整備しました。助成金は宝くじの受託事業収入を財源とし、全国で社会のために役立てられています。

宮崎中央卸売市場でめろめろメロンPR
せりでは1箱15万円の高値で取引

1月14日、JAみやざきこばやし地区本部のメロン部会（下村孝一部会長）が、宮崎中央卸売市場（宮崎市）で「めろめろメロン」のスタートダッシュPRを行いました。せりでは、A2・3L（5玉入り）1箱が15万円の高値で取引されました。今年のアールスメロンは甘味も外観も順調な仕上がりで、6月までに209㌧を出荷予定です。

下村部会長は「生産コストの高止まりや異常気象などで厳しい状況だが、部会員全員でおいしいメロンを作っていく。ぜひ食べてほしい」と話していました